

## 「学校設定科目」届 (指導と評価の年間計画)

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
外国語	英語読解演習 A	3年	2	未定

到達目標 ※	演習問題を中心に長文読解に必要な着眼点を順序立てて学習する。長文を読む際に注意すべき文法事項、文構造、慣用的な表現を整理しながら、できるだけ速い速度で読解を進められる力を育成する。
到達目標に向けての具体的な取組 【指導上の留意点】	文法、語法、文の構造など文法事項の確認を行いながら、習得した知識が長文を読みすすめる際に活用できるよう、最初はやさしい教材から次第に難度の高い教材へと、段階を経て指導する。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月	Lesson1,2	文型を意識しながら、意味のまとまり毎に英文を読み取り理解する訓練をする。問題演習を通して学習した内容の定着を図る。	各定期考査、出席状況、提出物の内容等から総合的に評価する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予習、復習が十分にできているか。</li> <li>・ 各単元でのポイントとなる項目が理解できているか。</li> <li>・ 各単元での演習問題が学習した内容にそって解答できているか。</li> </ul>
5月	Lesson3			
6月	Lesson4,5			
7月	Lesson6	準動詞など、頻出の文法事項を確認しつつ、英文の内容を理解する訓練をする。演習問題を通して学習した内容の定着を図る。	各定期考査、出席状況、提出物の内容等から総合的に評価する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予習、復習が十分にできているか。</li> <li>・ 各単元でのポイントとなる項目が理解できているか。</li> <li>・ 各単元での演習問題が学習した内容にそって解答できているか。</li> </ul>
8月	Lesson7			
9月	Lesson8			
10月	Lesson9	英語を英語のまま理解できるものは日本語を介さずに、理解することに慣れさせる。演習問題を通して学習した内容の定着を図る。比較の表現を活用できるようにする。	各定期考査、出席状況、提出物の内容等から総合的に評価する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予習、復習が十分にできているか。</li> <li>・ 各単元でのポイントとなる項目が理解できているか。</li> <li>・ 各単元での演習問題が学習した内容にそって解答できているか。</li> </ul>
11月	Lesson10			
12月	Lesson11			
1月	Lesson12	関係詞の表現に注意しながらも、日本語に縛られないように留意しつつ、英文を理解することに慣れさせる。演習問題を通して学習した内容の定着を図る。	学年末考査、出席状況、提出物の内容等から総合的に評価する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各単元でのポイントとなる項目が理解できているか。</li> <li>・ 各単元での演習問題が学習した内容にそって解答できているか。</li> </ul>
2月	Lesson13			
3月	Lesson14,15			

※学習指導要領に示された教科の目標をふまえて設定すること。

別紙様式3-①の(1)に記した「学校設定科目」について、科目ごとに作成すること。